議会だより

54 のとちょう

2018.11.1

新議員紹介 …… 2-3
９月定例会議 …… 4-6
７・８・10月会議 …… 7
９月定例会議一般質問 …… 8-12
常任委員会レポート …… 13
その他 …… 14-15
まちかどインタビュー
編集後記 …… 16

能登町子ども議会

新議員の紹介

任期満了に伴い能登町議会議員選挙（平成30年10月21日）が執行され、現職12人、新人２人が当選しました。任期は平成30年11月１日から４年間となります。

議長及び副議長、常任委員会などの組織については、11月中に初議会を開会する予定です。

馬場（ばば）　等（ひとし）
65 歳／２回
能登町字鵜川

堂前（どうまえ）　利昭（としあき）
48 歳／１回
能登町字五郎左エ門分

吉田（よしだ）　義法（よしのり）
47 歳／１回
能登町字国重

H30.11. 1 現在
氏　　名 年齢／当選回数 住　　所

市濱（いちはま）　等（ひとし）
70 歳／４回
能登町字新保

國盛（くにもり）　孝昭（たかあき）
69 歳／３回
能登町字柳田

金七（きんしち）　祐太郎（ゆうたろう）
53 歳／３回
能登町字松波

田端（たばた）　雄市（ゆういち）
67 歳／２回
能登町字真脇

新議員の紹介

むかいとうげ　たかと
向峠　茂人
69歳／5回
能登町字当目

かわだ　のぶあき
河田　信彰
46歳／5回
能登町字藤波

さけもと　のりこ
酒元　法子
74歳／4回
能登町字宮地

しょうじ　まさとし
小路　政敏
74歳／4回
能登町字越坂

かじや　しんいち
鍛治谷　眞一
70歳／5回
能登町字宇出津

みやた　かつぞう
宮田　勝三
69歳／5回
能登町字藤ノ瀬

しこう　しょうえい
志幸　松栄
70歳／5回
能登町字宇出津

○町議会とは

能登町などの地方公共団体は、憲法や地方自治法の規定に沿って、議会を設置しています。これは、住民がその地域の行政を自分たちの手で行うという地方自治の本旨に基づいたものです。

能登町では、選挙で選ばれた14名の町議会議員が、町民を代表して条例の制定や改廃、予算・決算など町政の基本的な事柄について話し合い、決めていく場です。

○審議の流れ

町議会には、年4回（3月、6月、9月、12月）定期的に開かれる「定例会議」と必要に応じて開かれる「随時会議」があります。

町議会に提出された議案や請願は、本会議にかけられた後、関係する委員会に付託され、審議が行われて最終的に本会議で議決されます。

○本会議

全議員が議場に集まり、町長から提案された議案などを審議したうえで、議会の意思を最終的に決定します。

本会議では、議案質疑のほか、町政全般に対する一般質問が行われ、活発な議論を展開しています。

○常任委員会

より効率的・専門的に審査するため、総務産業建設常任委員会と教育厚生常任委員会を設置し、予算などの議案や町民から提出された請願の審査のほか、所管事務の調査を行っています。

○町議会の傍聴

年4回定期的に開かれる定例会議と必要に応じて開かれる随時会議は、誰もが傍聴できます。議会では、ひとりでも多くの町民の皆さんが傍聴され、議会活動を通じて町政に対する理解を深め、参加されることを望んでいます。

一般会計
２億4086万５千円

補正予算可決

平成30年度の総額予算　185億7492万２千円

平成30年第７回能登町議会９月定例会議が開催され、今年度の補正予算（一般会計・特別会計）、その他条例改正を含む議案６件、平成29年度決算認定が10件、請願が１件、また追加議案として請負契約の締結について３件、発議２件の意見書及び発委１件がそれぞれ提出された。議案は各常任委員会により審査し、最終日に全議案を可決及び認定とした。
11日には７人の議員が町政全般について一般質問を行った。

一般会計補正予算

○総務費　△６０７２万９千円
有線放送費及び総合支所整備費で減額　など

○民生費　５３２万４千円
障害福祉費でシステム更新を追加　など

○衛生費　１９９万６千円
保健衛生費で斎場の除雪機械購入を追加　など

○農林水産業費　２４３４万２千円
農業総務費でイノシシ捕獲報奨金を追加　など

○商工費　１３３６万２千円
観光費で柳田植物公園内のトイレ改修を追加　など

○土木費　８６２万４千円
道路橋りょう新設改良費で実施設計費を追加　など

○消防費　２０５万４千円
防災対策費で屋外拡声器の移設工事費を追加　など

平成30年第７回９月定例会議の審議結果

（賛否の分かれたもののみを掲載します）
賛成 ○、反対 ×、欠席　欠、―　議長は採決に参加しません。

結果	議案＼議員名	馬場　等	田端　雄市	金七祐太郎	國盛　孝昭	市濱　等	小路　政敏	酒元　法子	椿原　安弘	河田　信彰	南　正晴	向峠　茂人	志幸　松栄	宮田　勝三	鍛治谷眞一
可決	議案第69号　平成30年度能登町一般会計補正予算（第２号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―	○	○	×

○教育費　　８５５万３千円

学校建設費でエアコン新設の実施設計費を追加　など

○災害復旧費　　２億３７３３万９千円

災害復旧費で町道の凍上災害※による工事請負費を追加　など

（※）凍上災害（とうじょうさいがい）とは
　冬期の低温によって道路の路盤（ろばん）等に大きな霜柱が発生し地面が隆起する等の凍上現象により道路舗装にひび割れなどが発生する災害です。

凍上によるひび割れ

路面の亀甲状クラック

特別会計補正予算

○国民健康保険特別会計　　５８５９万４千円

○介護保険特別会計　　６７２６万６千円

○公共下水道事業特別会計　　２６１７万２千円

○浄化槽整備推進事業特別会計　　７８万円

能登町議会から発議２件の意見書を内閣総理大臣ほか関係大臣に提出

○学校施設や通学路におけるブロック塀等の安全性確保を求める意見書

○児童虐待防止対策のさらなる強化を求める意見書

決算特別委員会からの報告

平成29年度能登町一般会計歳入歳出決算のほか７特別会計決算及び２企業会計決算併せて10件を認定した。

これら各会計決算の審査につきましては、去る９月５日から10日までの実質４日間の日程で委員会を開催し、決算書・事項別明細書・各種調書・主要施策の成果説明書・監査委員からの審査意見書などに基づき、関係課等から説明を聴取し、予算執行が適正にかつ効率的に行われたかについて慎重に審査した。

審査の過程において、本委員会からの主な意見、提案については以下のとおり。

宇出津港水産物加工処理施設の現地視察をする決算特別委員会

一、近年の異常気象による災害に備え、国からの交付金のみをあてにするだけではなく、災害時に迅速に対応するためにも、町独自の予算をさらに拡大する必要があるのではないか。またそういった災害に対応するための専門技師の採用や、消防署員の増員についても検討すべき課題として提言したい。

一、町が運営する有線放送について、町民のニーズに沿った町民目線で、さらにわかりやすい情報の発信や、番組の提供を望む。

一、本庁舎の建設が本格的に着工し、町民の方々の期待が大きくなる一方、行政への視線はさらに厳しくなると思われる。そういった意味でも町職員には今まで以上の意識改革、また全体の奉仕者であるということを再認識し、俗に言う『縦割り行政』と呼ばれないよう、町民のニーズにしっかり応えるよう邁進されたい。

一、町税の他各種料金・負担金・分担金等について、滞納者の実態に応じた適切な措置を講じるとともに、一層の収納努力を図られたい。

一、水道事業について、老朽管の更新により有収率も年々改善されており、今後も計画的に更新するとともに、国の補助事業についても常に研究・精査をし、目標値に掲げる『有収率90％』を目指して努力されたい。

一、病院事業について、町の広報誌や有線放送、病院のホームページ等を利活用し、町内外に向け、さらなるPRに努められたい。またドクターヘリの対応についても充分に事前協議と訓練を重ねしっかりと対応されたい。

最後に、この能登町は国際連合食料農業機関（FAO）から世界農業遺産に、また文化庁から『灯り舞う半島能登～熱狂のキリコ祭り～』として日本遺産に認定されている。この素晴らしい宝物を、次世代を担う未来ある子どもたちに引き継ぎ、夢のある町づくりに取り組んでいただくよう切望し、決算特別委員長の報告とする。

委員長	鍛治谷　眞一
副委員長	椿原　安弘
委員	小路　政敏
委員	國盛　孝昭
委員	田端　雄市
委員	馬場　　等

7月・8月・10月会議

【7月会議】 19日

平成30年7月19日に第5回能登町議会7月会議を開会し、議案3件が提出され原案どおり可決した。

○能登町税条例の一部を改正する条例について
○請負契約の締結について（平成30年度　内浦福祉センター解体工事）
○請負契約の締結について（平成30年度　柳田山村開発センター改修工事）

【8月会議】 27日

平成30年8月27日に第6回能登町議会8月会議を開会し、議案2件が提出され原案どおり可決した。

○財産の取得について
○請負契約の締結について（平成29年度　放送ネットワーク整備支援事業（ケーブルテレビネットワーク光化促進事業）及び平成30年度　情報通信基盤整備推進事業　能登町有線テレビネットワーク施設（柳田地区）再整備工事）

【10月会議】 4日

平成30年10月4日に第8回能登町議会10月会議を開会し、議案7件が提出され原案どおり可決した。一般会計補正予算では豪雨並びに台風による災害を補正し、請負契約の締結については、内浦総合支所及び柳田総合支所の建設工事に関するもののほか、柳田山村開発センターエレベーター棟増築工事によるものである。

○平成30年度能登町一般会計補正予算（第3号）
○能登町観光施設条例の一部を改正する条例について
○請負契約の締結について（平成30年度　内浦総合支所建設工事（建築））
○請負契約の締結について（平成30年度　内浦総合支所建設工事（電気））
○請負契約の締結について（平成30年度　内浦総合支所建設工事（機械））
○請負契約の締結について（平成30年度　柳田総合支所建設工事（建築））
○請負契約の締結について（平成30年度　柳田山村開発センターエレベーター棟増築工事（建築））

内浦総合支所イメージ

柳田総合支所イメージ

いっぱん質問

９月定例会議の一般質問（11 日）

議員が、町の一般事務に対してその執行の状況または将来の方針、政策的提言や行政への批判などを執行者に直接質問することです。

問　統合庁舎建設と今後のまちづくりについて

答　町民の一体感醸成に取り組みたい

國盛　孝昭　議員

問　この厳しい財政状況の中、貴重な財源を投資して行う庁舎建設でありますが、町長も以前から町民の一体感の醸成ということを言われているが私も同感である。特に町政を進める中で、役場職員の意識高揚の策が大事だと思うが、開庁に向けた庁内の意識改革を初め町民の一体感の醸成について、どういった取り組みを考えているか。

答　町長

平成32年1月の開庁にあわせ、町民意識の一体感の醸成に向け、町政15周年記念事業を実施、また分庁方式から本庁方式への移行で二重行政の解消と『奥能登にひと、くらしが輝くふれあいのまちづくり』を目指し、『住民が自信と誇りを持てる力強いまちづくり』に取り組むため、職員の意識改革や高揚策に取り組む、下野副町長を先頭にスムーズな移行を図りたい。

特に役場組織体制の適正配置を重点に簡素で効率的な組織で、きめ細かい住民サービスの提供を目指し、当初の13課3局から9課3局とし、柳田総合支所と内浦総合支所を整備し窓口サービスの充実を図る。

年度初めに町長の訓示を聞き心を新たにする職員一同

問　エアコン設置事業について

答　基本計画で公表している

問　今夏の酷暑に対し、いち早く、金沢市、津幡町が学校のエアコン設置を公表した。本町は、9月の補正予算に上程し、初めて、町民が知るところとなった。

なぜ、公表が遅れたのか。

答　町長　本町の教育振興基本計画（パソコンのホームページ）で、空調設備を計画し、公表しているので、町民の理解が進んでいると考えている。今後も当初の計画に基づき、整備を進める。

問　平成27年作成の計画で、整備計画は、あったのは、わかる。しかし、今回は、環境が大きく変わったことに対する自治体の対応として、金沢市・津幡町の公表である。そこを問うている。

答　町長　先ほどのとおり、すでに公表しているから、今回は公表しなかった。

田端　雄市　議員

エアコンが設置され快適な環境で勉学に励む児童たち
（提供：宇出津小学校）

問　財政健全化へ将来予想推計を示せ

答　健全な財政運営の比率を確保する

問　近年、役場新庁舎をはじめ、建設ラッシュの状況である。ほんの数年前に、財政状況が大変心配な時期があった。町民は、また、同じ轍を踏むのでないか、心配している。今後、10年間の財政状況を実質公債費比率で説明せよ。

答　町長　数値比率が18％を超えると、知事の許可など、制約がかかる。本年は、3年平均で、10.2％。10年後は、単年度で、約16％、平均で、14.4％程度と推計する。財政運営については、公共施設等総合管理計画を踏まえ、費用対効果や緊急度を考慮し、事業採択に努めたい。また、公営企業についても経営改革を進め、経費の節減に努める。

問その他質問

草刈りボランティアについて

毎年、地域で行う草刈りボランティア。町の景観をこうした労力が支えてきた。これが、高齢化、人口減少により、継続が困難となる地域が出てきている。

ボランティアをサポートする仕組みを作り、地域を超えての協働の町づくりに取り組んだらどうか。

答　町長　**事業の活用で共助の取組みを期待**

草刈りボランティアには、大変感謝している。現在、町には、林道愛護団体による草刈り、また、多面的機能支払交付金事業による集落単位で農道などの維持管理が行われている。そうした活動に、市街地と農村部が共助できる取り組みが出来れば、と期待している。

その他、通学路のブロック塀の安全性を問う

馬場　等　議員

問　能登町が発令する避難情報とは

答　気象庁が発表する情報をもとに行う

問　**気象庁が出す注意報・警報・特別警報と市町村が出す避難準備、高齢者等避難開始、避難勧告、避難指示について説明せよ。**

答　町長

気象庁が発表する第一段階の注意報は災害が発生するおそれのあるとき、第二段階の警報は重大な災害が発生するおそれのあるとき、第三段階の特別警報は最大級の警戒、つまり直ちに命を守る行動をとることを促す予報であります。

次に市町村が出す避難情報は、第一段階は避難準備、高齢者等避難開始の呼びかけです。第二段階は避難勧告の呼びかけです。そして第三段階は避難指示です。市町村では気象庁が発表する気象警報、注意報を判断材料として住民に避難をよびかける避難情報を発令します。住民の皆様には能登町が発令する避難情報に基づき早めの避難行動をとっていただきたいと思います。

災害に備え自主避難所を開設

問　河川の水位等の情報入手について

答　石川県がリアルタイムに情報提供している

問　**能登町において、河川の水位などの情報を入手できる手段はあるか。**

答　町長

県内の雨量や河川の水位、ダム情報、気象情報、注意報などの河川の防災情報については、石川県河川総合情報システムのサイトでリアルタイムに情報提供を行っています。能登町管内では、2級河川内の6河川8カ所の情報が掲載されています。

答　建設課長

その内訳は、水位観測所は町野川では石井橋と五十里橋に、上町川では笹川橋付近、松波川は多喜尾橋付近、九里川尻川は末次橋付近、山田川は天神橋と瑞穂橋の2カ所に設置されており、梶川は中保煎餅近くの河川のところに設置されています。

酒元　法子　議員

問　町道改良について

答　平成27年度より実施着手している

問　まず、さまざまな体験学習の場として利用希望の多い『石川県立能登少年自然の家』までの町道1級九里川尻越坂1号線から町道九里川尻立壁1号線については道路幅が狭く大型バス等を利用する利用団体が難儀していると聞くが拡幅の計画について、また町道1級秋吉清真1号線に架かる瀬爪橋の段差解消の計画について併せて確認する。

答　町長　町道1級九里川尻越坂1号線から町道九里川尻立壁1号線については、拡幅計画について部分的に3カ所を計画し、平成27年度より事業着手している。今年度は、1カ所目を施行する計画でその他についても現地調査のうえ改良していきたい。また町道1級秋吉清真1号線に架かる瀬爪橋の段差解消については現地確認のうえ早急に改修させたい。

問　河川の中州除去について

答　県に対して報告・要請を実施している

度重なる大雨で中州に堆積した土砂や草木を除去する業者

問　県・町管理河川の中州には木々が生い茂り大木となっている箇所も見受けられるが、災害の起因となりうる中州の除去について管理状況や計画について確認したい。

答　町長　県が管理する2級河川の管理状況は定期的なパトロールを実施していると聞いている。当町としては河川の氾濫や冠水による被害を未然に防止するため、現状把握のための写真撮影を行い、石川県に報告・要請をしており引き続き要望していく。また町管理の河川については予算を増額して中州除去に取り組んでいます。

志幸　松栄　議員

問　職員の実務研修の実施状況について

答　意識改革と資質の向上を図っていきたい

問　町職員の方々の実務研修はどのような内容なのかについて問う。

答　町長

職務上必要な専門的知識の習得として県庁派遣や姉妹都市への派遣、また自治大学校などの長期研修、さらに専門の講師を招いて町独自の研修会の実施等々多岐にわたり行っている。

職務に応じた講義を受講しスキルアップを目指す職員

問　当町における子育ての環境について

答　各種の相談体制を整えている

問　児童・生徒や保護者の悩みの相談体制は、またその体制の周知はどうなのか問う。

答　教育長

県が採用しているスクールカウンセラー制度、また町の相談体制として学校ハートフル相談員の配置、また町独自の能登町ハートフルフレンド派遣事業では、専門知識や経験の豊富な人材を学校や家庭に派遣し、相談を受ける制度がある。

そして家庭の相談窓口としては、県・町電話相談ホットラインもあり気軽に相談を受けられるような体制づくりを行うよう指導している。

周知としては学校を中心に周知し、また他の行政機関などの相談窓口では広報誌などにより周知を行っている。

問　その他質問

問　相続財産の放棄に伴う町税について

管理のない土地や空き家等が増加傾向にあり、財産の相続放棄をする方が全国的に増えているが、当町の固定資産税納付の取り組みはどうかについて問う。

答　町長

関係法規に基づき適正な課税、収納を行う

相続等については民法で定められており、専門職に委ねることが望ましく、税の取り組みとしては関係法規に基づき適正な課税、収納に努めているところであり、加えて納税者の利便性を図るために、来年度より郵便局窓口やコンビニでの納付を現在検討中である。

（その他の質問者　金七祐太郎議員　河田信彰議員）

総務産業建設委員会

椿原安弘（委員長）
市濱　等（副委員長）
馬場　等　國盛孝昭
酒元法子　河田信彰
宮田勝三

9月4日に委員会を開催し付託された議案1件を審査し全会一致で可決した。

審査過程での主な質疑応答は次のとおり。

問　新庁舎と第2駐車場の橋梁設計費についての概要及び下流にある橋梁の拡幅計画は。

答　橋梁設計費の概要ですが、幅員6m、車道と歩道の分離は予定していなかったが、今後は委員会審議も踏まえ事務執行を図りたい。

また、下流の橋梁拡幅計画ですが、当初は架け替え予定でしたが、事業の進捗が遅れており、新たな財源を国・県に要望することとなります。将来的には改良整備していく方向で検討している。

問　住宅費の『耐震改修促進計画修正業務』について問う。

答　町で『耐震改修促進計画』を策定しているが、平成29年度に国で見直しとなり今回修正業務を行うものです。

問　入札監視委員の人選について問う。

答　公平委員から3名と町の監査委員1名、外部有識者から1名を予定している。

問　植物公園のトイレ改修予定箇所について問う。

答　お祭り広場隣接のトイレ及び合鹿庵隣接のトイレを予定している。

教育厚生委員会

金七祐太郎（委員長）
田端雄市（副委員長）
小路政敏　南　正晴
向峠茂人　志幸松栄
鍛治谷眞一

9月4日、委員会を開催し、付託された議案6件を審査、全会一致で可決すべきものと決定した。

なお、審査過程での主な質疑応答は、以下のとおり。

問　老人福祉施設管理費の瑞穂ゲートボール場の補正内容は。

答　学校のプールの奥にありますゲートボール場管理棟の解体費の追加です。

問　20年経過した古い除雪機は下取りに出すのか。

答　使える状態である間はそのまま使用していきたい。その後は監理課と相談のうえ対処する。

問　合鹿分館は公民館の分館なのか。

答　集会所を兼ねた上町公民館の分館です。

問　今年宇出津小学校に設置した実例があるのに、実施設計を行わないといけないのか。

答　教室はオープンスペースが付いていたり改修して壁が無かったりするので、その学校その教室に合わせた一番有利な空調を検討するのがベスト。

問　入札になると思うが、安くて性能が良ければ量販店から購入すればよいと思うが。

答　壊れたときに修理ができない場合があったり、安くて同等品であっても外国製だと部品が無かったり、色んなケースがある。監理課に物品販売の入札指名届が無い量販店は入札に参加できない。

問　斉和分館を解体したあとの跡地について。

答　校舎・体育館を解体するにあたっては、昨年区長、地元の有志の方に集まっていただき3～4回会合を開いている。上町公民館館長が館長をしている間に問題があるところを解決したいとの事。校舎・体育館を解体した後は、駐車場等要望していくが、具体的には決まっていない。

問　町有施設を無償譲渡した場合の固定資産税は発生するのか。

答　社会福祉法人は非課税です。

問　譲渡するのは建物だけか。

答　建物だけです。土地については以前から貸与。

7月から9月の主な議会活動

7月2日　広報編集特別委員会
7月4日　議会運営委員会
7月4日　議会と語ろう会　全体会議
7月4日　タブレット講習会
7月6日　流山市議会受け入れ（～7日）
7月10日　総務産業建設常任委員会管外視察（～12日）北海道大空町他
7月19日　議会運営委員会・議員全員協議会・第5回能登町議会7月会議
7月19日　広報編集特別委員会
7月24日　石川県戦没者慰霊式（石川総合スポーツセンター）
7月26日　熊本県産山村議会行政視察（来町）
7月30日　町会区長会連合会と町議会との懇談会
8月1日　議会運営委員会
8月7日　皇太子殿下行啓に伴うお出迎え（～8日）
8月8日　議長・副議長・委員長研修会（志賀町役場）
8月27日　能登町子ども議会
8月27日　議会運営委員会・議員全員協議会・第6回能登町議会8月会議・議会運営委員会
8月28日　石川県町村議会議長会　議員・監査委員合同研修会（津幡町文化会館）
8月30日　議員全員協議会
9月3日　第7回能登町議会9月定例会議（議案上程）
9月4日　各常任委員会
9月5日　決算特別委員会（～10日まで）
9月11日　議会運営委員会
9月11日　第7回能登町議会9月定例会議（一般質問）
9月14日　第7回能登町議会9月定例会議（採決）

管外視察報告（北海道の北方館・広域穀類乾燥調製貯蔵施設（大空町））

総務産業建設常任委員会　馬場　　等

平成30年７月10日(火) ～ 12日(木)にかけて北海道の北方館・広域穀類乾燥調製貯蔵施設（大空町）を視察しました。

北方領土とは択捉島、国後島、色丹島、歯舞群島の四島です。納沙布岬から一番近い歯舞群島の貝殻島までは3.7㎞しかありません。北方領土には終戦時には現在の能登町の人口とほぼ同じくらいの17,291人の日本人が住んでいました。ソ連は1946年に四島を一方的に自国領に編入し、すべての日本人を強制退去させ、それ以降、今日に到るまでソ連、ロシアによる法的根拠のない占拠が続いており、北方領土問題が存在するため、いまだ平和条約が締結されておりません。もう10年もすれば、北方領土にかつて住んでいた人もいなくなるとのことです。若い人たちに北方領土についての正しい歴史を教えることの重要性を考えるとき、時間はあまりないように思います。ロシアはロシアで若い人たちに、都合の良い歴史を教えているとのことです。

北方館は目の前に広がる日本固有の領土である北方の島々を望みながら、北方領土問題の発生の状況や歴史的な経緯の資料を展示してあります。望郷の家は、北方領土の島々を追われた元島民の心の拠り所として開設され、島民の生活関連資料や島々における町並みや住居表示を織り込んだ地図などが展示されています。

二日目は大空町の広域穀類乾燥調製貯蔵施設と設備を見学させていただきました。ビール工場と見間違えるほどの巨大な施設で、総事業費約78億円ほどかかっているとのことです。オホーツク産豆類のブランド化と、豆類の作付振興による適正な輪作体系を確立するため、老朽化が進む管内６工場を再編・合理化したものです。産地パワーアップ事業という国の事業が適用されています。豆類は日本一の品揃え、フードセキュリティ、品質管理の徹底をし東アジアの需要へ販売促進を行うなどスケールの大きな施設で多様な就労機会の提供も可能で今後が楽しみです。

今回の管外視察によって感じたことは、北方領土問題に代表される、歴史への正確な知識の必要性です。私はもう一度、近代史の勉強を行ってみようと思いました。

北海道大空町にある広域穀類乾燥調製貯蔵施設を視察

表彰

能登町の監査委員である上野博氏が石川県町村監査委員協議会会長より永年在職者として表彰されました。

協議会会長から上野博監査委員に表彰状が授与されました

議案をチェック

9月定例会議の議案質疑

問 鍛治谷眞一議員

新設の道路橋りょう費の実施設計について1200万円の計上があるが、橋の概要を含め説明を求める。

答 総務課長

現在建設中の新庁舎及びコンセールの駐車を誘導するための橋りょうを予定している。梶川を挟み第2駐車場を整備しており、その接続をするもの。平成32年1月前に開通を予定している。橋りょうの事業費は7000万円から8000万円を予定している。

問 鍛治谷眞一議員

総事業費は1億となるが、第2駐車場59台のために効果があるのか。この議案は保留できないか。

答 総務課長

庁舎には大きなホールを予定している。コンセールもかなりの利用数がある。第1駐車場だけでは不足が予想され、町民の方に不便をかけないため提案したもの。

問 田端雄市議員

障害者福祉費の自動償還払いについて

65歳以上の方への医療給付自動償還払いを実施するために、障害者支援システムにデータ取り込み機能を追加する、このシステムについて説明せよ。

答 健康福祉課長

心身障害者医療費事業は、県が主体となっており、64歳までは医療費が現物給付という医療機関へ支払わなくてもいいものと、65歳からは一旦病院に支払って、領収書を付けて役場に申請し、戻してもらう償還払いとなっているものがある。それを町は単独で改善し、町内の医療機関のみであるが、自動償還払いとなるようなシステムとした。

問 田端雄市議員

商工業振興費の補正について

内浦商店連盟の国庫補助を受けて実施する地域商業自立促進事業が児童と高齢者の見守りをはじめ地域内の消費拡大など公益性が高いこの事業について説明せよ。

答 ふるさと振興課長

地域商業自立促進事業は商店街が長期的な発展と自立化を促進し、維持強化を図ることを目的とした国の事業。従来のお買い物カードであるIC型ポイントカードを導入する。このカードのシステムに児童の見守り機能として学校の登下校時間確認が保護者のスマホでできること。また、高齢者の安否確認機能として、一定期間カードの使用が無い場合に保護者に連絡が入る機能を付加したもの。

問 馬場等議員

歳入の国庫補助金、観光費補助金について

訪日外国人旅行者受入環境整備緊急対策事業費の補助金について説明せよ。

答 ふるさと振興課長

この事業は、外国人が日本に観光客として増えてきている現状から、公衆トイレの改修をするもの。観光庁より今年4月に申請募集があったので今回補正する。国庫補助金は事業費の3分の1。トイレは2か所で、植物公園内の公衆トイレを和式から洋式化にする。トイレをはじめ、訪日外国人の対応の観光整備を行っていきたい。

問 志幸松栄議員

農業費の補正について

鳥獣被害対策として1300万円の追加補正について説明せよ。

答 農林水産課長

当初予算では、イノシシの捕獲頭数の見込みを380頭としていたが、追加で700頭を見込み、年間で1100頭となる見込みです。その追加費用として補正する。

平成30年度出欠状況表

出席 ○　遅参、早退 △　欠席 ×　対象外 －　オ…議長が各委員会にオブザーバーで出席する時

月　日	会議名＼議員名	馬場　等	田端　雄市	金七祐太郎	國盛　孝昭	市濱　等	小路　政敏	酒元　法子	椿原　安弘	河田　信彰	南　正晴	向峠　茂人	志幸　松栄	宮田　勝三	鍛治谷眞一
30/08/01	議会運営委員会	－	－	○	－	－	○	－	○	○	×	オ	－	○	－
30/08/27	議会運営委員会	－	－	○	－	－	○	－	○	○	○	オ	－	○	－
30/08/27	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
30/08/27	8月会議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
30/08/30	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
30/09/03	9月定例会議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
30/09/04	各常任委員会	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
30/09/05～10	決算特別委員会	○	○	－	○	－	○	－	○	－	－	－	－	－	○
30/09/11	議会運営委員会	－	－	△	－	－	○	－	○	○	○	オ	－	○	－
30/09/11	9月定例会議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
30/09/11	教育厚生常任委員会	－	○	○	－	－	○	－	－	－	○	○	○	－	○
30/09/14	議会運営委員会	－	－	○	－	－	○	－	○	○	○	オ	－	○	－
30/09/14	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
30/09/14	9月定例会議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
30/10/04	10月会議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
30/10/04	広報編集特別委員会	－	○	－	－	○	○	○	○	－	－	－	－	－	○
30/10/22	広報編集特別委員会	－	○	－	－	○	○	○	×	－	－	－	－	－	○

まちかど インタビュー

今回のまちかどインタビューは、【宇出津錦町自主防災会】の小浦政博会長です。

宇出津錦町自主防災会会長　小浦　政博さん

自主防災組織を作るきっかけは何ですか。何世帯、何人の組織ですか。

町の呼びかけに、いち早く応じた。

万が一の災害などの場合、自分の命は自分で守る。まず、自助の姿勢を、訓練などにより、確かなものにしていくため、組織を作った。

現在は、41世帯、94名の組織です。

訓練の実施状況は、どうですか。

防災の学習会は、年1回は持っている。が、実施訓練は、町の総合訓練に合わせて実施している。

独自の実施訓練では、私たち、錦町区内の中の、消火栓の位置や消火ホースの格納場所なども確認し、また、消防署員の協力を得て、消火栓からの給水・放水も経験することができた。

今後の課題と考えられることは、何ですか。

防災意識をより強く持ってもらうため、【緊急持ち出し袋】などの装備品を配布するなど、目に見える形で、防災の準備ができるよう取り組む。また、当地域の区内は、高台にあるため、津波被害の想定は、危機感がない、しかし、土砂災害の危険度は、他地域より高い、と考えられる。

勾配のある坂道をはさむ形の住宅地域である。また、独居家庭も7世帯ある。平均年齢は57歳。地域内には、アパートもあり、転勤族の方々との連携も課題だ。

こうした点を踏まえながら、きめ細かい、地区防災計画の作成に取り組みたい。

自主防災会を作って、今後の期待はありますか。

訓練や学習会を通して、区内の方々との新たな親睦が図れる。年代や違った仕事に携わる人との出会いの場になる。地域共生の広がりが出来れば、嬉しいことである。

次の定例会議は12月6日開会です。

議会の日程については、決定しだい町のホームページ、または有線テレビでお知らせしています。

ぜひ傍聴にお越しください。ご意見などありましたら、下記事務局へご連絡ください。

北海道胆振東部地震で
被災された皆さまへのお見舞いと
一日も早い復興を議員一同
心よりお祈りいたします。

編集後記

台風、地震、異常気象と最近、大きな自然災害が続いています。

『備えあれば憂いなし』といいますが、全ての災害への備えは誠に難しいですけれど、少しでも安心が芽生えればと。

11月から新たな能登町物語が始まります。これまでの物語に足跡を残せたか自問自答するところです。

委員　酒元　法子

広報編集
特別委員会
委員長　田端　雄市
副委員長　市濱　等
委員　小路　政敏
酒元　法子
椿原　安弘
鍛治谷眞一

発行：能登町議会　編集：能登町議会広報編集特別委員会
〒927-0492 石川県鳳珠郡能登町字宇出津新1字197番地1
TEL（0768）62-8540　FAX（0768）62-8541